

第1章 調査概要

1. 実施概要

(1) 調査の名称

健康千代田21(健康増進計画)改定のための「健康づくり区民アンケート調査」

(2) 調査の目的

「健康千代田21(健康増進計画)」の最終評価と新計画の策定や今後の健康づくりを支援する体制を整え、区民の健康寿命の延伸などにつながる施策を進めていくため、区民の健康や生活習慣に関する意識及び地域での活動状況などを把握する。

(3) 調査対象

区内に居住する20歳以上の男女2,000名

(4) 調査時期

平成28年5月10日～平成28年5月25日

(5) 調査方法

郵送

(6) 回収率

発送数	2,000件
回収数	906件
回収率	45.3%

2. 報告書における表及び図表の見方

- ① 図表内の「N」は、設問に対する回答の合計数である。
- ② 単数回答の設問は円グラフ、複数回答の設問は帯グラフとする。ただし、単数回答であっても選択肢が多い場合は、棒グラフとしている。
- ③ 集計は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、比率の合計が100.0%とまらない場合がある。
- ④ 複数回答を求めた設問では 設問に対する回答者数を基数として算出しているため、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- ⑤ クロス集計表は、分析軸となる質問(性別、年代別等)の選択肢ごとに、最も多い回答を濃い灰色、2番目に多い回答を薄い灰色で着色している。
- ⑥ 集計した図表に対する説明は、原則、上位3位までとしているが、数値があまりに小さい場合は言及していない。
- ⑦ クロス集計表については、分析軸となる母数が10サンプル以下の場合、統計的に確からしくないことから言及していない。
- ⑧ クロス集計表では性別や年齢について無回答の人を除いているため、回答者総数と数が合わないことがある。
- ⑨ 本文や図表内の選択肢表記は、場合によっては語句を短縮・簡略化している。

3. 標本誤差

標本誤差は、以下の式で得られ、比率算出の基数(n、回答者数)、回答の比率(p)によって誤差範囲が異なる。回答比率は、ある設問の1つの選択肢に対して得られた回答者の割合である。定数1.96は、信頼率95%と設定した場合の定数である。

$$\text{標本誤差} = \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}} \times 1.96$$

N:母集団数、n:サンプル数(有効回答数)、p:回答比率

この計算式に従って算出される各調査の標本誤差は以下のとおりとなる。

回答比率 n	90%または 10%程度	80%または 20%程度	70%または 30%程度	60%または 40%程度	50%程度
906	±1.94%	±2.58%	±2.96%	±3.16%	±3.22%
546	±2.49%	±3.32%	±3.80%	±4.06%	±4.15%
348	±3.18%	±4.17%	±4.78%	±5.11%	±5.22%

4. 比較する既存調査

国や東京都の状況と比較するため、以下の調査との比較を行っている設問がある。質問や選択肢が一致しないしはほぼ同様である場合は違いについて言及しているが、そうでない場合は参考としてのみ掲載する。

■国による調査

平成25年国民健康・栄養調査（以下、「国民健康・栄養調査」(H25)）	
調査対象	平成25年国民生活基礎調査において設定された世帯及び世帯員
標本数	5,204世帯
調査方法	調査員による留置調査法等
調査時期	平成25年11月中の1日等
有効回収数(率)	3,493世帯(67.1%)
平成25年 国民生活基礎調査（以下、「国民生活基礎調査」(H25)）	
調査対象	全国の世帯及び世帯員
標本数	世帯票・健康票:295,367世帯／所得票・貯蓄票:36,419世帯／介護票:7,270人
調査方法	調査員による留置調査法等
調査時期	世帯票・健康票・介護票:平成25年6月6日 所得票・貯蓄票:平成25年7月11日
有効回収数(率)	世帯票・健康票:234,383世帯(79.4%) 所得票・貯蓄票:26,387世帯(72.5%) 介護票:6,342人(87.2%)
平成24年自殺対策に関する意識調査（以下、「自殺対策意識調査」(H24)）	
調査対象	全国20歳以上の者
標本数	3,000人
調査方法	調査員による留置法(封筒による密封回収)
調査時期	平成24年1月12日～1月29日
有効回収数(率)	2,017票(67.2%)

■東京都による調査

平成25年度「都民の健康や地域とのつながりに関する意識・活動調査」報告 (以下、「都のつながり意識・活動状況調査」(H25))	
調査対象	20歳以上の都民
標本数	67,425人
調査方法	郵送調査法
調査時期	平成25年11月29日～12月27日
有効回収数(率)	24,955人(37.0%)
平成26年度東京都福祉保健基礎調査「都民の健康と医療に関する実態と意識」報告 (以下、「都の福祉保健基礎調査」(H26))	
調査対象	東京都内の世帯及び20歳以上の世帯員
標本数	世帯票:6,000世帯 健康と医療に関する実態と意識票:6,931人
調査方法	調査員による訪問面接法等
調査時期	平成26年10月15日～11月14日
有効回収数(率)	世帯票:3,597世帯(60.0%) 健康と医療に関する実態と意識票:6,403人(92.4%)
平成24年度「健康に関する世論調査」(以下、「都の健康に関する世論調査」(H24))	
調査対象	東京都全域に住む満20歳以上の男女
標本数	3,000人
調査方法	調査員による個別訪問面接聴取法
調査時期	平成24年1月20日～2月5日
有効回収数(率)	2,005標本(66.8%)